

Title	流通業におけるVANの研究
Sub Title	
Author	木村寿克(Kimura, Toshikatsu) 関谷章
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1986
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1986年度経営学 第470号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001986-0470">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001986-0470</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 0470

学生氏名 木村 寿 克

主査 岡 谷 章

副査 柳 原 一 夫

所属ゼミナール 青 井 倫 一 研

青 井 倫 一

## 流通業におけるVANの研究

近年、情報技術や通信技術が急速に発展してきているとともに、通信事業が自由化され、「情報化」社会が進展してきている。企業は経営戦略上また競争上、このような「情報」化を取り込んで競争優位を築こうとしている。

「情報化」の流れの中で様々な新しいサービスが出現してきている。この中でVANサービスには多くの会社が参入し、多くのサービスの提供が開始されている。特に流通の分野で積極的にVANが導入されている。

本研究においては、低成長時代となり様々な成長阻害要因に直面している流通業においてVANが導入されることによる効果と流通組織間のパワー構造に対する影響を事例研究によって解明することを目的としている。

まず、現時点でVANサービスを提供している会社とそのサービス内容を考察している。次に、これらの会社のサービス利用の実態を事例で観察し、VAN導入による効果をまとめている。そして、最近設立が相次いでいる業界VANにおける協調のメカニズムと業界VANにおける競争の側面を検討している。

以上のような考察の後、様々な形でVANが導入された時、既存の流通構造（流通組織間のパワー関係）にどのような影響があるのか、将来の競争の予測を試みている。そして、VANが進展していく際に流通の各組織が考慮していかななくてはならないことを提言している。